

暮らしを支える下水道

市岡処理場一般公開、好評

港区民の暮らしを支える市岡下水処理場(市岡2)の一般公開が九月十日に行なわれました。市区民に親しまれる施設に」と毎年実施される「朝から夕まで」に約二百人が来場。汚水や雨水が様々な処理を経て尻無川へ放流される仕組みなどを学びました。

「汚い水が澄んでいくメーンの施設見学では職員が処理順に引率しながら説明してくれました。沈砂池では「汚水や雨水が最初に沈砂を落とす」と見学の入り口で説明がありました。

「沈砂池で沈砂を落とす」と見学の入り口で説明がありました。

「沈砂池で沈砂を落とす」と見学の入り口で説明がありました。



者から驚きの声があがりました。最後の消毒室では157などが発生しないよう、次亜塩素酸ソーダで大腸菌などを消毒してから放流します」との説明に見学者が再び頷いていました。

また大雨の時に雨水を尻無川へ排水する第二ポンプ槽では「バクテリア(好気性)の微生物が汚れ(有機物)をバクパク食べてくれます」と説明がありました。

「先日の大雨では五台がフル稼働しました」との説明があり、見学者がポンプスイッチを押すと、ディーゼルエンジンの轟音が響き渡りました。

会場にはこの他に、下水管内部の実況中継、顕微鏡での微生物観察、下水道の仕組みや歴史が学べるDVD上映などのコーナーが設けられ、家族連れなどが楽しんでいます。

健全な遊びが一杯!

「わんぱくまつり」大賑わい

「子どもたちに健全な遊びと親子ふれあいの場を」との思いで、NPOシニア自然大学が主催の「わんぱくまつり」が九月十八日、八幡屋公園で開催されました。毎秋に地域の協力で開催され、三小路課長は「子どもを巡る」と感謝を述べました。

心込めた各コーナー、真夏を思わせる強い日差しの下、わんぱく、割りばし鉄砲、風船割りダーツ、うちわ作り、テトソなど、心を込めた工夫を凝らした遊びや飲食のコーナーが会場を囲むように立ち並び、子どもたちは「参加カード」を首に、歓声をあげながら巡っていました。

また今回は「自然の物を使った遊びや工作を楽しんでもらおう」とNPOシニア自然大学が特別参加。会場中央に、木の葉遊び、松ぼっくり投げなどのコーナーを設け、子どもたちに遊びの手解きをしました。

和気あいあいがいい初参加という港晴小二年生の西瑠一土君は「わんぱく、や、カールングで遊んだ。弓矢は思つように当たらない所が(却って)面白かった」。母親の恵利香さんは「地域の枠を越えて和気あいあいと遊べるいい催しですね」。山内孝夫さん・由美さん夫妻は「琴美ちゃん(三先幼稚園年中)と航汰くん(一歳)を連れて初参加。近場で、ただで、こんなにたくさん健全な遊びを楽しめるのはとてもありがたい。三十回も続けておられる地域の努力・協力もすごいと思いました」。琴美ちゃん「(スーパードールを)一杯すくえた」と満足そうでした。



大勢の子どもたちで賑わった「みなとわんぱくまつり」=9月18日、八幡屋公園で(写真は八幡屋子ども会による「水でっぽうのあて」)



感謝の言葉を述べる武田悠暉君と林寿翔君



「スマートボール」

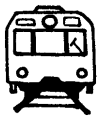
地域短信

町会が不法駐輪追放活動 全国ワースト1とされる

大阪市の放置自転車問題を解消しようと、港区でも市民協働の啓発活動が行なわれているが、その一環として田中一丁目東町会(木村良雄会長)が九月二十九日、「自転車放置禁止啓発活動」を行なった。大阪市建設局市岡工務所、港区役所市民協働担当、港警察署が協力。約一時間かけて町内を巡回し、放置自転車にめいわく駐車禁止の警告会符を取り付け、前籠には「放置自転車クリーンキャンペーン」の啓発ティッシュを入れた写真。参加した山恵一さん、湯浅閑子さん、吉川梅子さん、宮崎弘子さん、楠本紘子さんらは「気持ち良かった」「(昨秋や今春に比べて)随分マナーが良くなっているの今回が良かった」。市岡工務所の河西係長は「だんだん状況が改善されており、積み重ねの効果が現れている」と話していた。同町会では「地域の問題は地域で」とこれまでも様々な地域問題に取り組み、駐輪啓発活動は今回で十回目。木村会長は「イベントも大切だが、こういう活動を地道に続けていくことが本当のまちづくり」と話していた。

みなとタイムスリップ

回塊つれづれ草



交通科学博物館 課長 細川 武志

港区は川と海に囲まれていて「水運」に馴染みのある地区です。そんな土地柄が、子供時分の私は「船」大好き少年でした。もともとも身近なのが瀬戸内海等から関西圏への貨物を運ぶ「解船」で、芥川賞作家の宮本輝氏の『泥の河』では安治川の「解船」を題材にしていました。が、尻無川にもたたくさんの「解船」が浮かんでいました。水上生活者の厳しい暮らしを知らないまま「解船」を眺めては近所の悪ガキ連中と「船が家やで。ええなあ」「僕も住みたいなあ」といような会話を交わしていました。尻無川には港区と大正区を「渡し船」が行き来していて、現在も「甚兵衛渡船」が活躍中ですが、昭和三十年代には「甚兵衛渡し」

解船・渡船・客船…心躍らせた少年の日々

その後、瀬戸内航路の発着場は天保山棧橋から弁天埠頭に移り、弁天埠頭では「関西汽船」と「加藤汽船」が競っていました。が、そんな瀬戸内航路も次第に南港のフェリーへと転換していき、私の「船」への憧憬も次第に薄れていきました。



昭和30年代の大阪市の渡船。交通科学博物館資料室提供

住まいの防犯レベル高めよう

- ① ワンドア・ツーロックは常識
- ② ピッキングに強いカギに交換
- ③ 窓にも補助錠の取り付けを

PHS 携帯OK ☎0120-70-5569

(24時間) 港カギ防犯センター

安全・安心を ご提供します

港区港晴 1-4-8 (港晴小学校並び)

★大阪府錠前技術者防犯協力会会員
★港防犯協会会員 ★防犯設備士第00-6738号

身近な法律相談お受けします

- 借金や過払い請求を何とかしたい
- 相続・遺言の手続きはどうしたら?
- 生活トラブルを法的に解決したい
- 不動産の名義を変更したいけど...
- 役所への手続きを代行してほしい
- 会社設立・役員変更の手続きは?

※その他、成年後見申立て、帰化申請、離婚手続などのご相談も承ります(司法書士法第3条の範囲に限ります)

1人で悩まずお気軽に/秘密厳守/土日でも対応/女性司法書士も在籍

牧田 権藤 合同法律事務所

南市岡 1-6-3 ユタカビル2F ☎6586-6762
URL makita-gondou.com
司法書士・行政書士 牧田 亮 簡裁訴訟代理等認定番号 812083 司法書士 権藤 礼子 簡裁訴訟代理等認定番号 812032

戦争体験 平和のために 次世代へ!

お話をききとり、冊子にしてお渡しします。

400字原稿用紙1枚で、千円が標準料金です。

脚の傷跡のわけを孫から問われる度に中国での戦闘の話はしてきただけで、辛く悲しかった体験はまだまだあり、どう伝えたらよいのかと思っていたところ、港新聞を紹介してもらい、聴き取って頂きました。冊子の出来に満足しています(80代男性、総料金14万円)

港新聞・飯田編集事務所 ☎6571-4636